施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	施策主管課	産業振興課
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	施策主管課長名	鵜川　晃
関係課	産業振興課					

1．施策の目的

対象	A 観光関連事業者 B 町民・地域 C 観光客	意図	A 連携しながら戦略的な観光事業に取り組み成果をあげている B おもてなしの心が醸成され積極的に観光客に接している C 多くの人が訪れ、また来たいと思ってくれる

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内施設宿泊者数（増加）（現状値：H30時点）	人	16,155	16,400	16,450	16,500	16,550	16,600
				9,879	12,285	11,379	13,058	11,475
②	B 観光ガイドの回数（増加）（現状値：H30時点）	件	78	80	82	84	87	89
				15	40	33	31	35
③	C 観光消費額（増加）（現状値：H30時点）	万円	15,305	16,720	16,850	16,900	16,950	17,000
				4,680	9,256	7,682	9,821	9,217
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、一時的な減少は見られたものの、聞き取り調査地点が減少する中においても、全体としては上昇傾向で推移した。しかしながら、各年度に設定した目標値は達成しなかった。(R7年度の低下は、ふれあいの森公園工事に伴うバンガロー宿泊数の減少によるものである。) また、全宿泊者数に占める新鶴温泉んだの宿泊者数の割合は、コロナ禍前の52%(H30)から54.5%へと2.5ポイント増加している。これは第１次観光振興計画の振り返りでも分析されているとおり、継続した情報発信の取組による効果が表れているものと考えられる。
②	計画期間における実績値は、各年度とも目標値には達しない成果となった。 第１次観光振興計画の振り返りでも分析されているとおり、団体利用の伸び悩みや、認知度及び訴求力の不足などが要因として考えられる。
③	計画期間における実績値は、各年度とも目標値は達成しなかったものの、聞取り調査地点が減少する中においても9,000万円台を維持した。 なお、実績が目標値に届かなかった要因としては、１事業者の売上がR6年度の1,500万円からR7年度に800万円へ減少したことなどが影響しているものと考えられる。
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・第２次観光振興計画を策定し、４つの施策の柱に基づく９つの戦略プログラムを定めるとともに、「観光施設における入込客数」及び「観光宿泊者数」を全体目標として掲げ、関係機関等で組織する協議会委員と目指す方向性を共有した。
・高田、本郷インフォメーションセンターにおいて、新たに軽食の提供及び特産品等の販売を開始したことから、新たな施設整備に関する検討議論については深めなかった。
・「那須白河会津観光推進協議会」解散に伴い、「白河一奥会津広域観光協議会」への加盟に向け意見交換を行うなど、新たな観光商圏拡大に向けて取り組んだ。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、商工観光業の振興(施策３-２)に引き継がれる。
町内イベントの開催や広域連携、効果的な情報発信など、観光振興に向けた推進体制が整備されていることから、「域内消費」につながる成功事例を創出し、その成果を地域全体へ波及させながら、持続的な観光地づくりに取り組む。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4347	観光施設管理事業	18,483	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4351	観光誘客事業	11,471	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	4358	観光対策事業	67,029	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	14393	観光まちづくり推進事業	1,214	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○